

FREE

沖縄で

人生を見つめなおす
ライフスタイルマガジン

2015年
第2号

夏・南風号

ひとやすみ

GINOWAN MARINA

くつろぎたいむインタビュー

EPO さん



おきなわで・ひとやすみのコト・モノ・バシヨ
【沖縄市音楽資料館／パークアベニュー】

ひとやすみのうちなーんちゅ体験ガイド
【THE LIVE HOUSE CIRCUIT】

Okinawa Life ending Stage syuukatu fan club
【宮古島・霞さんご夫妻／具志川・稲葉さん】

終活カウンセラーいちえの「よりよくいきる」
【小浜 一恵さん】

沖縄県メモリアル整備協会だより
【メモリアルパークレポート／終活レポート】

オキナワンエンディング

ちゅ

うみ

永代供養 海洋葬

美ら海



永代供養・海洋葬「美ら海」とは

海洋散骨を希望する方々の願いを叶え、供養の対象が無いといった後悔をすることなく安心して行える海洋葬プランが永代供養・海洋葬「美ら海」。永代供養・納骨堂「おきなわ霊廟」での安置・納骨・永代供養のサービスをベースに遺骨の一部を沖縄の海で散骨する海洋葬とのセットプランです。

美ら海3つのプラン

PLAN.1

メモリアル葬プラン

専用ホールで告別式も執り行う、感動のプラン。

霊園内の法要室でのお別れ式の後、「おきなわ霊廟」でご納骨。その後、ご家族でクルーザーを貸切り沖縄の海でゆっくりと故人様をお見送り頂く理想のエンディングプランです。

後日、礎に記銘彫刻され、毎月執り行われる合同供養法要で永代にわたり故人様の供養が続けられます。



焼骨をパウダー状に粉骨



メモリアルホール「くる」でお別れ式



おきなわ霊廟での安置・納骨



クルーザーで海洋葬



散骨証明書の発行



美ら海の礎に記銘彫刻



合同供養法要

合計金額

406,400円

PLAN.2

チャーター散骨プラン

おきなわ霊廟でご納骨後、ご家族でクルーザーを貸切り、故人様をお見送り頂くプランです。



焼骨をパウダー状に粉骨



おきなわ霊廟での安置・納骨



クルーザーで海洋葬



散骨証明書の発行



美ら海の礎に記銘彫刻



合同供養法要

合計金額

341,600円

PLAN.3

委託散骨プラン

ご遺骨をお預かりし、私どもがご家族に代わって海への散骨と「おきなわ霊廟」へのご納骨をさせていただきます。



焼骨をパウダー状に粉骨



おきなわ霊廟での安置・納骨



委託散骨



散骨証明書の発行



美ら海の礎に記銘彫刻



合同供養法要

合計金額

96,960円

まずは資料請求を!

メモリアル終活支援センターにご相談ください。

受付時間 9:00~17:00 無料相談 0120-202-869 ニライに やすらく

メモリアル終活支援センターは、専門のスタッフがお客様の立場でお役に立てよう誠心誠意お応えします。

公益財団法人 沖縄県メモリアル整備協会 / メモリアル終活支援センター

〒901-1111 沖縄県島尻郡南風原町字兼城123番地POPビル3F

沖 縄 で ひ と や す み

2015 年 夏★南風号

2015/7/30 発刊 通巻 2 号

表 紙 宜野湾マリーナ
コンベンションエリアに
ある県内最大のマリーナ。
様々なマリンアクティビ
ティの拠点となっており、
隣接するトロピカルビーチ
などと合わせて都市型リ
ゾートを形成している。



特 集 **くつろぎたいむインタビュー**
歌手・セラピスト EPO さん

撮影：鬼丸昌範

CONTENTS

- 4～6 ・くつろぎたいむインタビュー
歌手・セラピスト EPO さん
- 7 ・おきなわで・ひとやすみのコト・モノ・バシヨ
沖縄市音楽資料館／パークアベニュー
- 8/9 ・ひとやすみのうちなーんちゅ体験ガイド
THE LIVE HOUSE CIRCUIT
- 10 ・沖縄 いろとりどり
沖縄市 2015 エイサーナイト
- 11/12 ・Okinawa Life ending Stage syuukatu fan club (owner's voice)
宮古島・霞さんご夫妻／具志川・稲葉さん
- 13 ・終活カウンセラーいちえの「よりよくいきる」
小浜 一恵さん
- 14/15 ・沖縄県メモリアル整備協会だより
メモリアルパークレポート／終活レポート

企画／発行：公益財団法人 沖縄県メモリアル整備協会

【メモリアル終活支援センター】

〒901-1111 沖縄県島尻郡南風原町字兼城 123 POPビル3F

電話 098-996-1238 FAX 098-996-1239

制作／印刷：光文堂コミュニケーションズ株式会社

〒901-1111 沖縄県島尻郡南風原町字兼城 577

電話 098-889-1131 FAX 098-835-6111

最初からこの土地を知っているという感覚を
持っていたし、強いつながりを感じています



くつろぎたいむインタビュー
歌手・セラピスト EPOさん

EPOさん 東京都出身で現在、沖縄を拠点に全国で活動。大学在学中から竹内まりやなどのレコーディングにコーラスなどで参加、1980年にシユガーベリーのカバー曲「ダウンタウン」でデビュー。資生堂のキャンペーンソング「う、ぶ、ぶ」や高見知佳さんに楽曲提供した「くちびるヌード」などが大ヒット。

エポさんが初めて沖縄の土を踏んだのは19歳の時、飛行機を降りたその瞬間から、沖縄は彼女にとって特別の土地になったという。

「どう表現していいのかわからないんですけど、なんだろう、他と違うエネルギーを感じたんです。心の奥の方で、目に見えない何かで、この土地と繋がっているという確信みたいなもの」を感じたと話す。

そこから、年に一度、二度と休みの度に沖縄に通う日々が始まった。休みが終わわり東京に戻るとすぐに、「ああ早く沖縄に帰りたい」と思うほど、沖縄で過ごす時間が彼女にとって貴重なものとなり、そのうちに休暇だけでなく、ツアーやイベントなどで度々訪れるようになる。

2003年からは、FM沖縄でレギュラー番組「風と海と空と」がスタート、それからは月に一度沖縄に通う生活が4年間にわたり続き、沖縄の自然、文化、そしてなにより『人』との縁が急速に深まっていった。



Okinawa Life ending Stage
Kuturogi-time Interview



取材場所は、コンベンションセンターにある農場カフェ「たいよう市場」

「私は、そんなに社交的な方ではないんですけど、沖縄にいと自然にいろんな人と親しくなれるんですね」とエポさん。「ここでは、全然関係ないところで友だちになった人たちが、互いに繋がっていたということが良くある」と話す。だから、人間関係の深まり方がとても速い。そうやって育っていった友だち関係を通して、沖縄の自然や歴史、文化についても徐々に理解が深まっていったという。

ところで、エポさんは2000年頃から、音楽活動と同時にカウンセラールとしての活動をスタートさせている。

「もともと心理学とか脳の構造とかに興味があったんです」と話すエポさん。2003年には、カウンセラールの専門資格を取ると同時に神奈川県葉山市にカウンセリングスタジオ『MUSIC&DRAMA』を開設、その後米国へ留学するなど、カウンセラールとしての活動にも力を入れている。「心理学の勉強を始めてから、人生がすごく変わりました」という。それは、自分を大切に生きられるようになったこと。「だって、仕事だけの生活なんていやじゃないですか」。考え事をしたり、友人たちと過ごすたわいのない時間が、とても貴重だと。

そんなエポさんが、沖縄に居を移し

たのは4年前。現在は葉山と沖縄をいったり来たりする生活だが、「たぶん潜在意識の中では、もっと早くから沖縄に移りたいと思っていたんですよ」と話す。そのぐらい沖縄での暮らしは、自然で充実しているという。

「何しろ、帰んなくていいってのは、嬉しいですよ」とエポさん。旅人として通っていた頃は、「ああ、あれもやりたい、これもやりたい」と思いつながらも、あつという間に帰る時がくる。想いを残して、東京に葉山にと帰らなければならなかった。「でも、沖縄に住んでいるんだから、全然、焦る必要なんてない。自分のペースでゆっくり」。

沖縄に移り住んで感じたのは、やはり人間関係の素直さだった。

「最初のアパートが、私たちの上の階に大家さん一家が住んでいらして、夏にドアを開けて風を通していいと、上のおちびちゃん遊びに来たり、大家さんが料理をおすそ分けしてくれた」。その後、引っ越した土地でも、「引っ越しのご挨拶で、お隣近所をまわっていたんですけど、家に戻ったら、ご挨拶したばかりのご近所さんが、ドラゴンフルーツの入ったビニールを持って仁王立ちで待っていらしたんです」と笑顔を見せる。

そんなエポさんだが、沖縄に住んで



愛を~ LOVE IS ON ~ 2015.9.16 リリース

35th Anniversary Year に贈る EPO 久々の POPS アルバムが完成します♪
『Down Town』でデビュー以来数々の名作、ヒット作を生み出してきた EPO。
本作はその真骨頂とも言える POP な EPO の作品です。
明るく楽しく、時にダイナミックなパワーを感じさせ、
繊細なメロディーも重なり合って歩んできた人生の分
育まれた成熟した感性が紡ぎ出す言葉の数々は心に自然に
沁み込みます。

<お問い合わせ>
エポニカレコード HP : <http://www.eponica.net>
Mail : office@eponica.net



初めて気づいたことがあるという。それは、「沖縄に通っていた頃、友人たちが、いつも夜遅くまで遊びに付き合ってくれたんですね」とエポさん。そして「でも、良く考えてみたら、みんな翌日、仕事があるんです。いやあ、大変、ご迷惑を掛けました」と。そして、「今は、私たちも迎える立場だから、東京から友達がくると、できるだけ、私たちがしていただいたと同じようにしています」と、そして「でもやっぱり大変だ」と笑う。

沖縄での暮らしは、曲作りにも生きている、とエポさん。
「それは、やりたいことが自分の中ではつきりしているので、曲のテイスト



自体が変わったということではないんです。そうではなくて、沖縄に住んでいることで、音楽づくりにじっくり時間をかけられることが嬉しいという。

沖縄に移って、一度も住みにくいと感じたことはないというエポさん。

「最初からこの土地を知っているという感覚を持っていたし、強いつながりを感じています」と話す。

やはりそれは、エポさんならではの感覚だろう。人によっては、この土地が住みづらいと感じることもあるはず。そんな時には「ズーっと住むって決めてかかる必要はないと思います」と話す。

「もし、水が合わなくても、この土地で体験したということは、人生の経験値を上げることに繋がるはずなんです。だから、いいところをたくさん感じて、ご自分の人生の糧にしていただけだと嬉しいですよ」と話してくれた。





ビセカツこと備瀬善勝 館長

沖縄音楽が聴ける日本でも珍しい資料館

沖縄市音楽資料館おんがく村

住所：沖縄市中央 1-7-3 電話：098-923-3224

開館：12:00～18:00 入館料無料

戦後沖縄のミュージックシーンは、ここ、沖縄市が震源地だった。いわゆる沖縄民謡だけでなく、ジャズ、ロック、フォークとここから羽ばたいたミュージシャンたちは、枚挙にいとまがない。

ここでは、そんな沖縄音楽の歴史と今を、たくさん写真やパンフレット、そしてなにより嬉しいのは、EPやLPなど当時の音源で迎えることができること。なお、土・日の昼間は、ビセカツ館長が資料館に詰めているので、実際に貴重な話が聞ける、かも。



「沖縄音楽シーンのご意見番」として、沖縄音楽ファンなら知らない者はいないという、音楽プロデューサーでキャンパスレコード社長の「ビセカツ」こと備瀬善勝さんが館長を勤めるのが、沖縄市一番街にある「沖縄市音楽資料館おんがく村」だ。

おきなわで・ひとやすみの ｺﾄ・モノ・ﾊｼﾞョ



そんじょそこらの沖縄ファンじゃないよ！ うちら重症の「沖縄病」にかかっているんだから！ というみなさんに、地元視点、いやちな～んちゅでも知らない情報を提供！

沖縄市 中央パークアベニュー

白い瀟洒なアーケードとヤシの並木が特徴的なのが、ここ中央パークアベニュー。

昼間の人通りの少なさから、知らないで行くと「あれっ？」と思ってしまうのだが、夕方過ぎになるとうるさ型のコザんちゅを納得させるオシャレで個性的な店がちらほら開き始め、街は一転、賑やかになる。老舗も多いのでゆっくり楽しみたい。



MURASAKI 40th Anniversary 8・8 ROCK DAY OKINAWA
 2015年8月8日(土) 沖縄市ミュージックタウン音市場 出演:紫(MURASAKI)/ISLAND/HEART BEATS
 主催:8・8 ROCK DAY OKINAWA 共催:沖縄市 後援:ミュージックタウン音市場

WELCOME TO KOZA
 コザ解禁
 New 沖縄市 『KOZA』 音と食の力!
 "元気になれるライブハウスサーキット!"
 ライブハウス LIVE HOUSE CIRCUIT サーキット
 音楽のまち沖縄市「1日1音プロジェクト」
 詳しくは コザライブサイトで検索

ひとやすみの・うちなーんちゅ体験ガイド

The KOZA experience



中の町



沖縄市音市場



ゲート通り

紫、マリー・ウィズ・メデューサ、コンディ ショングリーンなど日本のロックシーンに衝 撃を与えたバンドが、コザで生まれ活動して いた。もちろん今でも現役のバンドも多い ーせいで、コザーというハードロックとい うイメージが強いが、もちろんコザが生ん だ音楽はオキナワロックだけでない。

70年代のフォークブームの頃、一世を風靡 した沖縄フォーク村を立ち上げ、初代村長に 就任したのもコザ出身の佐渡山豊だし、全国 的な沖縄ブームの火付け役となったネーネー スをプロデュースした知名定男も長くコザを 拠点に活動していた。さらに、りんけんパン ド、オレンジレンジ、そして喜納昌吉。もち ろん、戦後沖縄ミュージックシーンのルーツ といっている嘉手苺林昌、登川誠仁、照屋 林助など、目がくらむような多様で多彩な ミュージシャンたちの存在。

こうしたミュージシャンたちの活動を支え たのが、コザの街のたくさんのライブハウス たち。この街には現在でも様々なジャンルの 無数のライブハウスが存在する。

ライブハウスサーキットは、そんなコザの 街の音楽を思う存分楽しんでもらうため、い わゆる中心市街地(中の町、一番街、中央パ ークアベニュー、ゲート通り etc...)の20 余りのライブスポットの協力のもと、通年で 実施されている音楽企画。

サーキットでは、市内の観光施設や通りで の「おでかけライブ」など、様々な音楽イベ ントとともに、協力店において平日、チャー ジ無料で熱いライブが楽しめることから、ラ イブの梯子をするファンも多いという。



<http://www.kozalives.com/>

ライブハウスサーキットとは、沖縄市中心市街地『コザ』に集積する音楽スポットのライブエンターテインメントが平日チャージ無料で楽しめるイベント。

ロック、ポップ、民謡などディープなサウンドが楽しめるのは、コザの街だけ!?

**沖
縄
市** **ライブハウス
LIVE HOUSE CIRCUIT
サーキット**





沖縄市

2015 エイサーナイト

<http://kozaweb.jp/eisa/night.html>



沖縄では、夏と言えばエイサー、エイサーといえば夏。うちなーんちゅなら、いや、うちなーんちゅじゃなくても地方が奏でる軽快な三線の音を聞けば、あっという間に「肝(チム) ドンドン」してくるはず。エイサーがここまで県民に親しまれるようになったきっかけのひとつが、1956年に戦後復興のシンボルとして開催された「コザ市・エイサーコンクール」。そんなエイサー好きの沖縄市ならではのイベントがエイサーナイト。お盆を含む6月中旬から8月の土日を中心に、市内どこかで勇壮なエイサーが繰り広げられる。

宮古島での暮らしが もたらしてくれたかけがえのない“縁”

大好きな場所で、気の置けない仲間と決めた永代供養墓という選択

owner's voice — ご契約者様の声 —



4 人の名前が並ぶ礎の前で微笑む霞さん夫婦

お互い自由な時間を過ごす。「夏になると友人や、高校生や大学生になる孫たちも毎年遊びにやって来る。多分、神奈川にいたらかんたはな



定年を機に霞憲一さん、加代子さん夫婦が神奈川県から宮古島に移住して来たのは9年ほど前。「海がきれいで、気候も温暖。病院や役所、スーパーも近く、コンパクトにまとまっているから、すぐく住みやすいですよ」と憲一さんは言う。二人の普段の暮らしは、午前中はゆっくりと散歩し、午後は読書をしたりして

い。ここ最近では、毎朝知り合いのおばあちゃんのマンゴーの収穫を二人で手伝っていて忙しくしています(笑)」と、日々の暮らしを心から楽しんでいるようだ。宮古島での暮らしは、霞さん夫婦にたくさんの縁をもたらしてくれた。その中のひとつが、茨城県に住むKさん夫婦との出会いだ。観光で訪れていたKさん夫婦と知り合ったのは二人が移住して来たばかりの頃。宮古島が好きことや年齢が近いこともあり、お互いにすっかり打ち解けて、Kさんたちが宮古を訪れるときは必ず会うほど親しくなった。Kさん夫婦が霞さん宅に遊びに来ていたある日のこと、「実は私たち、沖縄でお墓を探していて」とメモリアルパークの資料を取り出したのを見て霞さん夫婦はとても驚いた。「実は私たちも同じタイミングでお墓のことを考えていて。子どもたちと離れて暮らす以上、今後のことは二人できちんと決めておこうと、その資料を取り寄せていたんです。ちょうど宮古島にもメモリアルパークができることを話すと『すぐ



宮古島市在住の
霞憲一・加代子さんご夫婦
沖縄在住 9年

「私たちはお墓を残すという考えがなく、散骨も考えましたが、やっぱり何かは残したい。その時、礎を見て『あ、これで十分だね』って。Kさんたちも全く同じ気持ちでしたね」。こうして霞さんKさん両夫婦は、永代供養墓を生前予約。礎には現在、赤文字で刻まれた4人の名前が仲良く並んでいる。先々のことを決められたので安心して、あとは楽しく暮らしていくだけだと笑う霞さん夫婦。今度Kさん夫婦が宮古島に来るときは、一緒に礎を見に来ようと計画しているという。宮古島がもたらした縁に感謝するように、二人が礎を眺める姿は笑顔に溢れていた。

シーミーも楽にできるし、公園みたいできれいなんです。

花想を選んだのは、他府県でそれぞれの暮らしを営む子供たちに、お墓のことで、苦勞を掛けたくないから。

owner's voice — ご契約者様の声 —



稲葉智子さんと担当した諸見弓さん（旦那様の墓前にて）

管理型公園墓地「樹木葬 花想」は、お嬢様と二人で選んだという稲葉さん。13年前に亡くなったご主人、保夫さんの仮墓を、勝連城跡近くの先祖代々の墓の側に置いていた稲葉さんは、これまで墓参りするたびに草刈りしながら急な細い坂道を登らなければならず、とても苦勞していた。そんな折に、他府県に嫁いだお嬢さんが、母の苦勞を見かねてお



納骨後、親族揃って

墓の移転を決意、インターネットで具志川のご実家近くの墓苑を探し具志川メモリアルパークを見つけたという。今回、稲葉さんは仮墓からの改葬と合わせて管理型公園墓地「樹木葬 花想」にご主人の納骨とご自身の生前契約を決めている。「ここは、家から車で5分くらいで来られるので、とても便利で助かっていますよ」と笑顔を見せる稲葉さんだが、「子供たちもそれぞれ他府県で家庭を持つているので、私自身お墓をどうしようかと考えていました。娘もおんなじことを考えていたみたいです」と稲葉さんはいう。

花想は、花と木に囲まれた墓苑で、一

定期間後に「おきなわ霊廟」で合祀永代供養が行われるというもので、残されたご家族に墓の維持管理で苦勞を掛けたくないという方や、稲葉さんのようにお子さんたちが他府県で家庭を営んでいるという方の悩みに応えている。

お子さんたちが沖繩を離れることに、保夫さんは常々、「それぞれが幸せだったらそれでいい」と話していたという。なので、この花想は、自分たちにピッタリのスタイルだと話す。

「シーミーの時など、いつでも夫のお墓参りができるのが嬉しいし、子どもたちが孫と帰省した時に、公園みたいできれいだねといってくれました」と稲葉さん。そして「ここは海が見えるでしょう。静岡の海育ちの主人にとって、何よりの場所です」と話してくれた。



Okinawa Life ending Stage
syuukatu fan club

具志川在住の稲葉智子さん
ご主人の眠る仮墓を改葬
樹木葬「花想」を選択



終活っていうと、なんだか、クラーい、カターいイメージ。
でも本当は、違うんです。終活って、走るのをちょっとやめて、自分のフォー
ムだとか、体力だとか、あるいは走る目的なんかを見つめなおす、人生をよ
りよく生きるための活動なんです。



★私が終活カウンセラーになったきっかけのお話★

これまでに家族や友人、果ては家族として一緒に過ごした
ペットに至るまで、『死を看取る』という経験が人より多い気
がします。どの別れ、旅立ちも私の人生に大きな影響を与えて
きました。その中でも、30代後半に亡くなった親友の死は、終
活カウンセラーになる最初の布石になったと思います。

親友は同じ年の夫、高校生になったばかりの娘と、まだ小学
生の息子を残り旅立っていきました。沖縄の10月にしては肌寒
く、とても風が強い日で、私は風に髪が遊ばれるのもかまわず、
あのザワザワと風が木々を揺らす中、親友の名前を何度もつぶ
やき泣いていたイメージが今でも強く残っています。彼女が天
国に旅立つまでの2年余り、私は多くの時間を彼女と過ごし、
語り合い、彼女の孤独と母としての決意を静かに見守りました。
あれから10年近い歳月が流れ、親友のこれまでの人生
の物語を語れるものは少なく、今になって親友の娘は
母がどんな青春時代を過ごしたのか、父とどんな風に
出会い、結ばれたのかを私に訊ねるようになりました。
(親友の夫は数年前に他界し、子供2人だけになる)

私は親友の娘に長年ピアノをレッスンしていたので、プライ
ベートでも時折
会っては近況報
告をしながらお
茶をする時間を
持っていました。
高校の卒業アル
バムを持ってき
たり、親友夫婦の
なれそめを話し
たり、出産の時の
エピソードを話
したり。今思え

ば、これが私の終活のスタートだったのです。

私は親友からとても温かく愛情でいっぱい任事を任せられ、
その任事を全うしたとき、親友の娘の顔を今でもハッキリと覚
えています。

想いは、強い生きる原動力になります。その任事を任せられた
私も、魂がふるえるほどの感動を経験させて頂いたのです。

私にはもうひとりの大切な友人が亡くなった際に、私に残し
てくれたものがあります。それは、ある作家の本3冊。彼女は
交通事故という突然の別れでしたが、私に本をプレゼントする
準備をしていたのです。年齢の離れた親友同士で、本好きの私
たちは時間を忘れていつまでも本の話や恋の話をしてしまし
た。彼女らしい私への愛溢れるメッセージでした。

終活は手続きだけではないのです。

想いを形にする。

これは、とてもいいワークになりますし、自分自身と向き合
える有意義で素敵な時間になるのです。大切な人たちが私に大
きなメッセージ、プレゼントとして残したものを私なりにお伝
えしたい…、その延長線上に終活カウンセラーがあったと思っ
ます。このコラムを読んで頂いているあなたの想いに、救われ
る者がいるのです。そのお手伝いをするのが終活カウンセラー
だと思っています。その作業は、思いのほか楽しく、感謝といっ
ぱいになるのです♡

終活は暗く重いものではありません。

年齢に関係なく、性別に関係なく、とても豊かな時間になる
のです。

さて、今回のテーマは『終活疲れ』と『よりよく生きる』とは
です。それでは、皆さま 次回を楽しみにまたお会いしましょ
う！

メモリアルパークレポート

宮古島メモリアルパーク供養
第1回合同供養法要 - 1/26

1月26日、落成したばかりの「おきなわ霊廟」で、約30名のご契約者様ご参加下さり、はじめての合同供養祭が開かれました。供養でお祈りをいただいたのは、臨済宗妙心寺派祥雲寺の岡本恵道副住職。ご供養いただいたのち、ご参列の皆様におきなわ霊廟の本尊である千手観音について法話をいただきました。

なお、同パークでの合同供養祭は、毎月第四金曜日に定期開催されています。また、法要の様子は、当協会ホームページで同時配信・生中継にてご覧いただけます。

<http://www.oki-memorial.org/live-broadcast.html>



大里メモリアルパークに
位牌供養堂落成 - 5/14

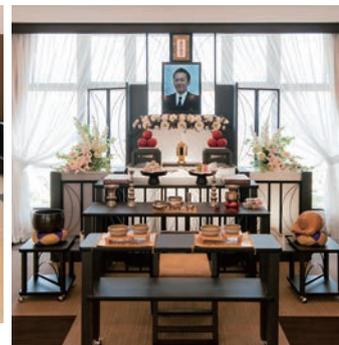
5月14日、大里メモリアルパークに位牌供養堂が完成しました。位牌供養堂は、「両親の位牌を嫁ぎ先に持って行けずに困っている」、「亡くなったばかりなので、永代供養をするのには少し抵抗がある」といった皆様のお悩み、ご要望にお応えしたものです。ご契約の内容は30年間安置供養した後に、永代供養する仕組み。観音様が見守る供養堂で大切に安置いたします。



中城メモリアルホール Livery
オープン - 4/7



4月7日、中城メモリアルパーク内に、中城メモリアルホール リベリィがオープンしました。リベリィは「法要室」、「会食・多目的ホール」、「終活サロン」にわかれ、中城湾の美しい景色を一望できます。そして5月15日には、リベリィを利用して、終活セミナーを開催。講師は、当会職員の東恩納寛寿。セミナーはエンディングノートの解説を中心に、参加者の皆様に実際に記入していただきながら進めていきました。



第2回 終活ツアー開催
海洋散骨体験・墓苑訪問 - 4/20・21



昨年12月の第1回終活ツアーに続いて、4月20日と21日の2日間にわたり、終活ツアーが開催されました。

ツアー参加者は総勢

32名、首都圏を中心に県内からもご参加いただき大盛況となりました。

メインイベントは、慶良間諸島に近い海域での海洋散骨模擬体験。参加者からは「模擬体験なのに、予想していなかった深い感動があった」などのご感想をいただきました。

おきなわ終活フェア2015
タイムスビルで開催 - 3/7・8



3月7日、8日の2日間、那覇市久茂地のタイムス本社ビルを会場に、「おきなわ終活フェア2015」が開催されました。昨年に引き続き第2回目となる今回、来場者の皆様にも、ご自身のエンディングについて真剣に考える姿が多くみられ、「終活」の取り組みが徐々に県民の皆様へも浸透している様子が実感できました。

よりよく生きる 終活はじめませんか。



「私達は、お客様の『終活』をサポートし、お墓・ご供養のお悩みを解決します。」

永代供養・納骨堂

おきなわ霊廟

お墓の悩みを安心に変える。
メモリアルパークの納骨堂
『おきなわ霊廟』での永代供養



永代供養・海洋葬

美ら海

永代供養と海洋葬の
コラボレーション

墓じまい

あんしんサポート10

墓のお悩み No.1。
どうする先祖のお墓？
ご先祖や家族の供養についての
悩みや不安にお応えします。



お位牌供養

位牌供養堂

大切なご先祖のお位牌を
永代供養します。
ご先祖や家族の供養についての
悩みや不安を解消します。



公益財団法人

沖縄県メモリアル整備協会 『オキナワン・ライフエンディングステージ』の創造



県内最大の管理型公園墓地
中城メモリアルパーク
沖縄県中頭郡中城村字当間340番地



南城市 花とみどりの公園墓地
大里メモリアルパーク
沖縄県南城市大里字大城1260番地

名護 さくらの里で永遠のやすらぎ
やんばるメモリアルパーク
沖縄県名護市屋部728番地



うるま市 家族みんなが快適な管理型公園墓地
具志川メモリアルパーク
沖縄県うるま市具志川1801-1番地



美ら海のそむ やすらぎの丘
宮古島メモリアルパーク
沖縄県宮古島市平良字松原1290-2番地

八重山 太陽と緑にいだかれて
石垣メモリアルパーク
沖縄県石垣市字登野城2241-79番地



公益財団法人 沖縄県メモリアル整備協会
メモリアル終活支援センター

メモリアル終活支援センター 受付時間 / 9:00~17:00

0120-202-869



沖縄供養

検索

<http://www.oki-memorial.org>

